



▲この日のマダイは1キロ級がアベレージ



▶大型アマダイの引きは強烈。あらかじめドラグを調節しておこう



★沼津沖はアマダイの好漁場。当日最大は50センチ、1.6キロ



駿河湾沼津静浦港出船 穏やかな沼津沖で楽しむ マダイ&アマダイリレー

撮影●鈴木良和

▲マダイの鋭い引きを軟調竿で受け止める

▶アマダイ狙いは砂泥底に点在する根周りの際を流すためマハタがよく交じる

▼仕掛けはマダイがLサイズのコマセカゴにオモリ80号、ハリス4号10メートルが標準。アマダイは片テン2本バリでハリスは3号、オモリは潮具合で60～80号を使用



▲アマダイは30センチ級が目立った
▶オニカサゴも上がった



▼ポイントはマダイ、アマダイとも沼津沖の水深85メートル前後



夜タチウオは70～100センチ級がトップ40～50本と絶好調。当地はエサ釣りはテンピン&テンヤ、ルアーはジギングなど、オマツリしなければどの釣り座でも自由に楽しめる。



寒波の影響などでシケが多い冬場でも、地形的に北風に強い駿河湾沼津沖は出船率が高いエリア。マダイ&アマダイを狙って沼津静浦港の真成丸を訪れた取材日も、沖合はシケていたが沼津沖の海上は穏やかだった。

早朝はマダイ狙いで水深85メートル、海面から65メートルの指示ダナでスタートすると1キロ前後がポツポツ上がる。後半に転進したアマダイもポイントにはほぼ同じで、片テン2本バリ仕掛けに交換して底から1～2メートルのタナを探り、30センチ級主体に50センチの特大サイズを交えて大半の人が2～3尾の釣果を得た。

同船はマダイ&アマダイリレーを午前&午後の半日船で受け付けるほか、夜タチウオへも出船。ダブルヘッドでたっぷり船釣りを満喫しよう！（詳細は56ページ参照）



●駿河湾沼津静浦港・真成丸
高橋 判船長

